

政 策 提 言

(要 約 版)

令和 7 年 1 0 月

第 4 期若手チャレンジプロジェクト

政策調査・研究班

目 次

プロジェクトメンバー構成 政策調査・研究班	1
活動経過	2
提言 1 班「閉校跡地の利活用について」	3
提言 2 班「市民が「わかる」 庁舎案内ー庁舎案内のデジタル化ー」	8
提言 3 班「自転車利用を促進した中心市街地の人流創出について」	13
提言 4 班「つん Pay の周知活用」	19

プロジェクトメンバー構成

政策調査・研究班

1 班 閉校跡地の利活用について

所 属		氏 名
未来政策部	秘書広報課	田原 匠馬
市民安全部	税務課	中村 俊貴
保健福祉部	保険年金課	堂園 大喜
建設部	道路河川課	町田 優斗
鹿児島純心大学		小田原 優人
鹿児島純心大学		諏訪麻 里亜

2 班 市民が「わかる」庁内案内-庁内案内のデジタル化-

所 属		氏 名
未来政策部	企画政策課	坂元 楓香
市民安全部	税務課	出水 えりか
経済CS部	産業戦略課	道下 高史
建設部	建築住宅課	木下 聖也
鹿児島純心大学		笹森 圭太郎
鹿児島純心大学		豊田 そあら

3 班 自転車利用を促進した中心市街地の人流創出について

所 属		氏 名
経済CS部	産業戦略課	今久留主 凌
市民安全部	税務課	泉 雄翔
建設部	建設政策課	森山 陽斗
鹿児島純心大学		榎園 愛美
鹿児島純心大学		溜池 悠人
鹿児島純心大学		床並 龍希

4 班 つんPayの周知活用

所 属		氏 名
行政管理部	総務課	小山田 緑
保健福祉部	保護課	石原 大河
建設部	道路河川課	武藤 良太
鹿児島純心大学		桐野 郁美
鹿児島純心大学		村山 結奏
鹿児島純心大学		吉永 秀弥

第4期若手チャレンジプロジェクト

政策調査・研究班 活動経過

令和7年	項 目	内 容
5月22日(木)	辞令交付式 第1回プロジェクト会議	プロジェクト発足 班構成決定、オリエンテーション
6月 3日(火)	第2回プロジェクト会議	鹿児島純心大学生と顔合わせ、研究テーマを検討
6月24日(火)	第3回プロジェクト会議	研究テーマの決定、提言の方向性を議論
7月15日(火)	第4回プロジェクト会議	現状分析及び課題の整理、先進事例調査
7月23日(水)	第5回プロジェクト会議	先進事例調査の共有、具体的取組方針の整理
7月29日(火)	第6回プロジェクト会議	具体的取組に関する課題の整理
8月 6日(水)	第7回プロジェクト会議	具体的取組に関する情報収集及び施策の検討
8月13日(水)	第8回プロジェクト会議	研究内容精査、不十分な情報等を補足
8月19日(火)	第9回プロジェクト会議	最終報告会に向けた内容精査、発表資料の準備
8月26日(火)	第10回プロジェクト会議	最終報告会に向けた内容精査、発表資料の準備、発表に向けた当日の役割分担
9月(随時)	班別会議	班ごとに提言資料の調製
10月2日(木)	提言報告会	



閉校跡地の利活用について

若手チャレンジプロジェクト
政策調査・研究班 1 班
町田、中村、堂園、田原、小田原、諏訪

1

全国、鹿児島県、本市の現状

現在利活用されている本市の閉校跡地

No.	学校名	現在の利活用状況
1	旧浦内小学校	エネルギー施設、消防団車庫
2	旧倉野小学校	物流倉庫事業
3	旧野下小学校	ボーイスカウトの活動拠点施設
4	旧寄田小学校	宿泊施設の開業準備中
5	旧滄浪小学校	宿泊施設
6	旧青瀬小学校	かのこ幼稚園および下甕保育所へ転用
7	旧西方小学校	まるごとささえ愛事業(1 階部分)
8	旧山田小学校	外国人技能実習研修施設事業
9	旧南瀬小学校	外国人技能実習研修施設事業
10	旧藤川小学校	総合福祉事業

2

No.	学校名	現在の利活用状況
11	旧陽成小学校	スポーツ施設事業
12	旧朝陽小学校	ワイナリー事業
13	旧高江小学校	スポーツ拠点施設事業
14	旧東郷中学校	胡蝶蘭栽培事業

3

現在利活用されていない本市の閉校跡地

No.	学校名	No.	閉校跡地	No.	閉校跡地
1	旧平良小学校	6	旧湯田小学校	11	旧黒木小学校
2	旧高城西中学校	7	旧吉川小学校	12	旧上手小学校
3	旧子岳小学校	8	旧鳥丸小学校		
4	旧藤本小学校	9	旧大馬越小学校		
5	旧西山小学校	10	旧東郷小学校		

4

【自治体】

- ・ 廃校施設の売却益
- ・ **雇用創出**による経済効果（税収）
- ・ 本来かかる廃校の維持管理費の減

➡ 収益など

- ・ 観光客などの増加
- ・ **雇用創出**による人口増加

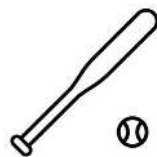
➡ 地域活性化

5

【事業者】

- ・ 比較的安価で改修工事ができる
- ・ 同じ面積の教室が設けられているため、宿泊施設などに利用しやすい
- ・ 注目度（社会問題となっているので、メディアからの注目度も高く、高い宣伝効果が期待される）

6



旧鳥丸小学校で 「合宿受け入れ施設」 (ターゲット：学生)



近い



約12分

地元イベント 集客効果

2月から3月にかけて開催されている、「ひな祭りスタンプラリー」では、鳥丸地区コミュニティ協議会だけでなく、他9地区も会場となっている。



この他にもさまざまなイベントがあるが、イベント会場が近くないと参加できないようなイベントにも参加しやすくなり、合宿期間とイベント開催日の合致にもよるが、高い集客効果が期待されると考えられる。

9

スポーツが盛んな自治体としての
アピールポイントができる

スポーツ大会やイベント開催地
として選ばれる可能性の増加



合宿件数の増加

スポーツ振興

関係人口の増加

10

市民が「わかる」庁舎案内

一庁舎案内のデジタル化ー

若手チャレンジプロジェクト

政策調査・研究班 2班

木下 道下 出水 坂元 笹森 豊田

現状分析・課題抽出 一庁舎案内の現状まとめー

2



① 1階 行政庁舎案内図



② 階段踊り場 庁舎案内図



③ 天井吊り下げサイン

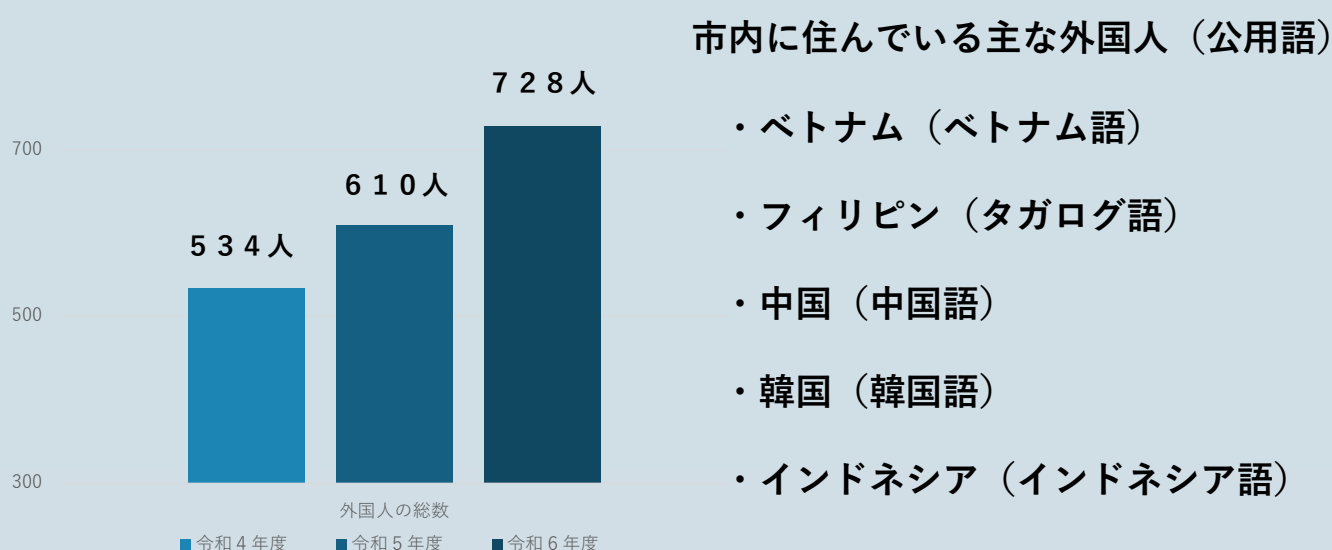
利用頻度の少ない方、小さい文字が読みにくい方、
日本語が読めない方にとって分かりにくい

30,602件



令和6年度に総合案内が本庁舎にある各課に案内した件数の合計
(125件/日)

平均して1日100件以上、総合案内が市民の方に
庁舎を案内している状況であり改善の余地がある



多言語に対応できる庁舎案内が必要

既存の案内表示では・・・

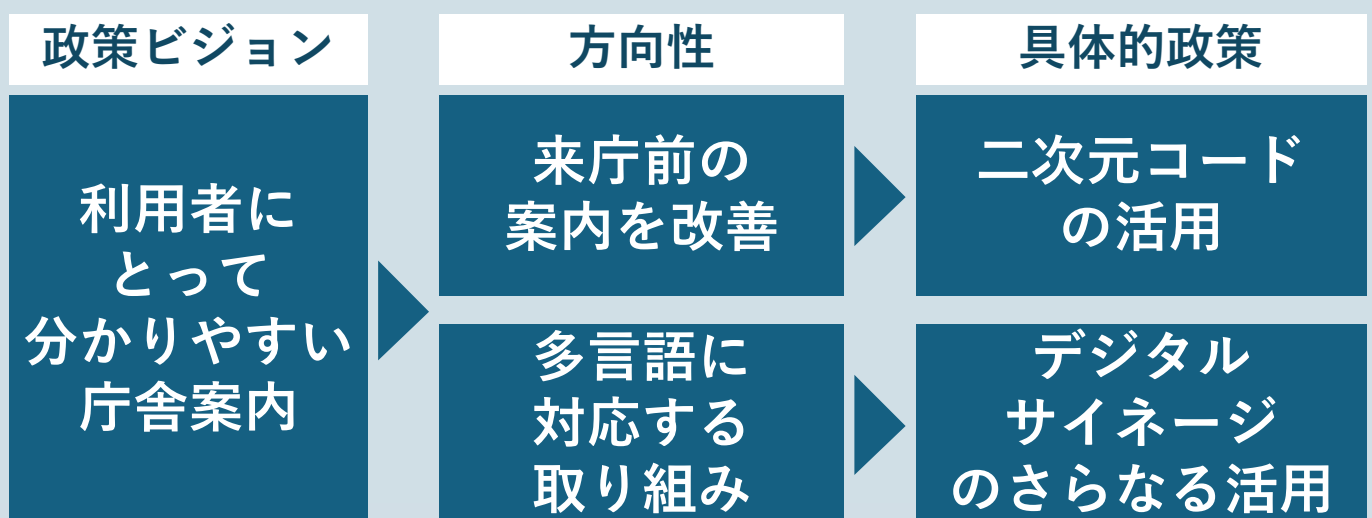
「世代、国籍問わずわかる庁舎案内になっていない」

「多言語に対応した庁舎案内になっていない」



すべての利用者にとってわかりやすい庁舎案内にする必要がある。

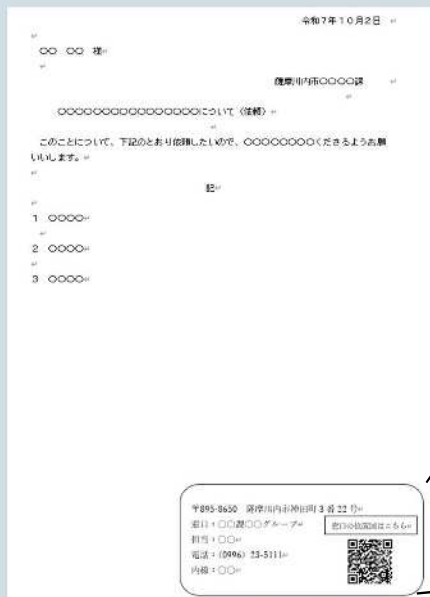
政策提言



庁舎案内のデジタル化

提言内容① 二次元コード活用による案内

7



通知文書に庁舎案内の 二次元コードの配置

〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号

窓口：〇〇課〇〇グループ

担当：〇〇

電話：(0996) 23-5111

内線：〇〇

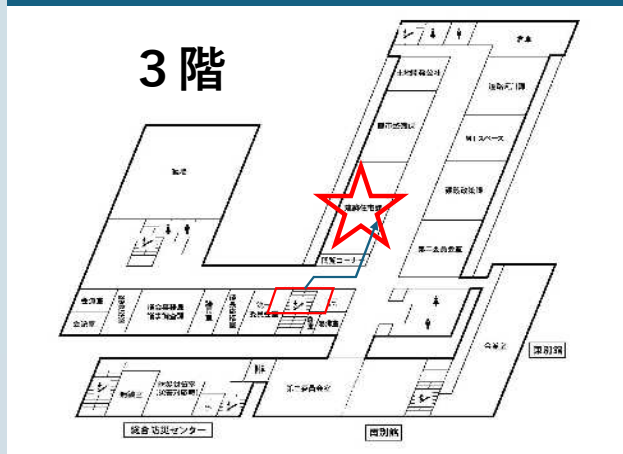
窓口の位置図はこちら



提言内容① 二次元コード活用のメリット

8

二次元コードを読み込むと 窓口の場所が表示される



メリット

既存案内図の有効活用で
導入コストがかからない

来庁前に周知ができる

視覚的配慮が可能

デジタルサイネージ の特徴

リアルタイムに
豊富な情報を発信可能

多様な場所に設置可能

多言語対応が可能



まとめ

二次元コードの活用

既存案内図の有効活用で
導入コストがかからない

来庁前に周知ができる

視覚的配慮が可能

デジタルサイネージ のさらなる活用

多言語対応が可能

案内業務の効率化

用途に応じた
設置が可能

すべての利用者にとって「わかる」庁舎案内に

自転車利用を促進した 中心市街地の人流創出について

若手チャレンジプロジェクト
政策調査・研究班 3班
森山、泉、今久留主、榎園、溜池、床並

1

1-① 背景

本市は、九州新幹線が停車する川内駅を有し、
令和3年 川内駅平佐口に「SSプラザせんだい」
令和6年 川内文化ホール跡地に「センノオト」
が開館し、市民の集う拠点が整備されている。



SSプラザせんだい



センノオト

施設名	来館者数(令和6年度)
SSプラザせんだい	121,086人 ※
センノオト	405,358人 ※

※施設管理者調べ

しかし 中心市街地については、空き店舗が増加している。

市民が集う拠点と中心市街地の回遊性を高め
人流を創出することが重要

2

1-② 現状分析

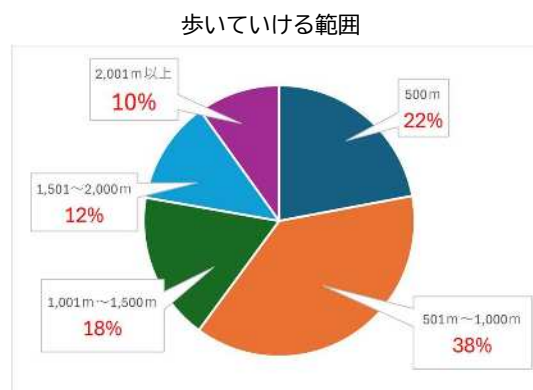
歩いていける範囲が
1キロ以下の人

約 **60%**

(平成21年時点)

出典:内閣府:歩いて暮らせるまちづくりに関する世論調査(平成21年7月)

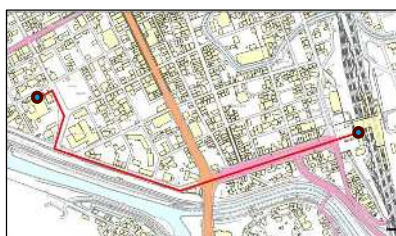
平成21年から令和6年の間で、日平均気温が1.7℃上昇したため、歩ける距離は減少していると予想される。



出典:内閣府:歩いて暮らせるまちづくりに関する世論調査(平成21年7月)

●川内駅～センノオト

1.1キロ(徒歩15分程度)



●センノオト～SOKO KAKAKA

850m(徒歩12分程度)



●上村病院～マルナカ

1.2キロ(徒歩17分程度)



3

2. 問題提起

①川内駅周辺を気軽に移動する手段がないため、
地域住民及び観光客の動きが活発化しない

②運転手不足等が原因で、バスの運行ダイヤの変更や
路線廃止が進み交通手段が縮小

③一般的な交通手段が「自家用車」になっている

4

3. 政策提言

①シェアサイクルサービスの導入

- 手軽な移動手段の確立と公共交通機関の補完

②放置自転車のレンタサイクルへの活用

- 既存サービスの拡充と資源循環に関する機運醸成

5

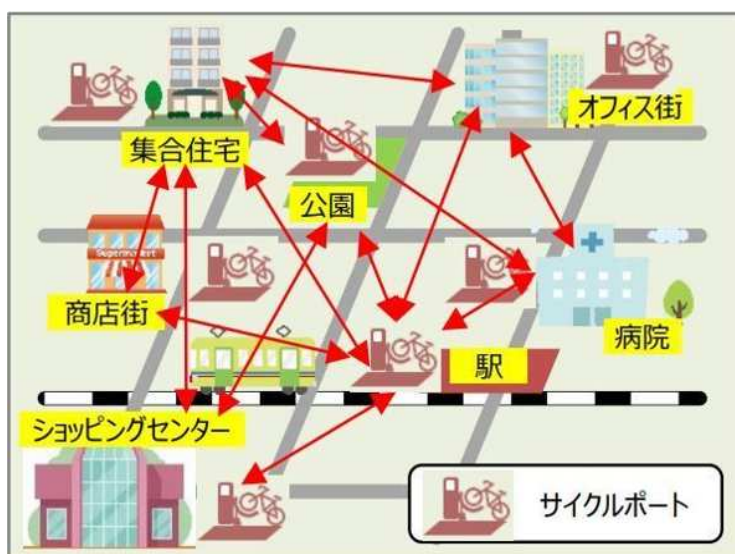
6

3-① シェアサイクルサービスの導入

シェアサイクルとは

複数のサイクルポート(駐輪施設)から必要なタイミングで、自転車を利用することができる仕組み。

借りた場所に返す「レンタサイクル」と違い、【**短時間・短距離**】でも、**目的地までの交通手段として活用できる**。



引用: 国土交通省(シェアサイクル事業の導入・運営のためにガイドライン)

6

3-① シェアサイクルサービスの導入

地域住民

- 自家用車、バス以外の**新たな移動手段**
- 自転車の利用による**健康増進**
- 近場の移動のための**気軽な手段**として最適
- ガソリン代の軽減、**環境負荷低減**
- **非常時**の交通手段

観光客

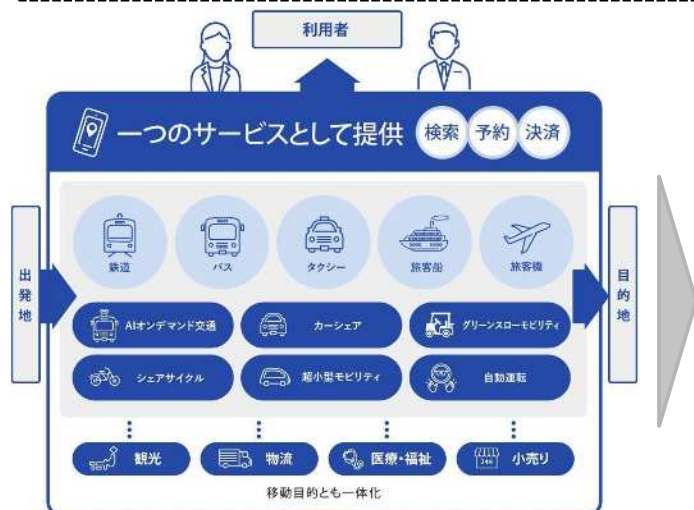
- **公共交通機関の時間に縛られず**、効率的に観光することができる
- 手軽な交通手段として、**市街地への移動促進**
- 既存の公共交通機関との連携で、**観光スポットへのアクセスがしやすくなる**
- 渋滞などの**混雑を回避**できる

3-① シェアサイクルサービスの導入

(3) 九州MaaSとの連携による利便性の向上

MaaS (Mobility as a Service) とは

地域住民や旅行客の移動ニーズに応じて、**複数の公共交通やそれ以外のサービスを最適に組み合わせて検索・予約等を一括で行うサービス**



【効果】

地域や観光地における
移動の利便性向上

既存の公共交通機関
の有効活用

外出機会の創出と
地域活性化

引用: [国土交通省HP\(日本版MaaSの推進\)](#)

3. 政策提言

② 放置自転車を活用したレンタサイクル

●本市のレンタサイクル事業

- ①川内駅観光案内所
- ②市比野レンタサイクル
- ③KOSHIKI CYCLE
- ④藺牟田池レンタサイクル

大人用の
自転車が
多く、
全ての人が利用
できない

既存のレンタ
サイクル事業
の充実

●放置自転車の現状

SSプラザせんだいや駅に駐輪された
所有者不明の自転車については、
年に1回撤去している

45台

放置自転車
の利活用

令和6年度撤去台数

3. 政策提言

② 放置自転車を活用したレンタサイクル

●インクルーシブ自転車(おもしろ自転車)

年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰でも楽しく乗ることができるように設計された自転車

有限会社オートクラフトIZU

約40年間子供向けのおもしろ自転車を製作
(手で漕げるもの・片足で進めるものなど)

利用者から好評であったため、大学と協力し
「インクルーシブ自転車」プロジェクト開始

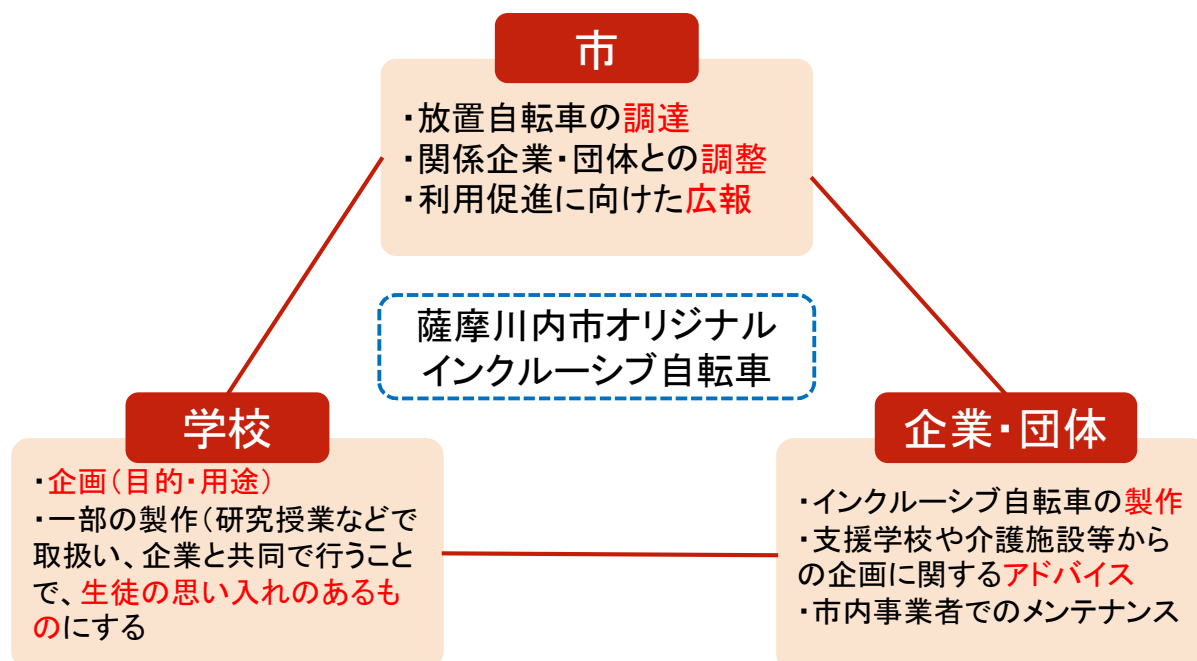
支援学校や介護施設、大型の公園に導入され、
様々な方に自転車を楽しむ機会を提供



引用: [有限会社オートクラフトIZU ホームページ](#)

3. 政策提言

② 放置自転車を活用したレンタサイクル



11

3. 政策提言

② 放置自転車を活用したレンタサイクル

● 蘭牟田池などの観光地に配置

観光客の新たな関心につながり、観光客の増加につなげる

● サーキュラーパーク九州に配置

官民連携で製作したことで高まった、資源循環への関心を
資源循環の拠点となる「サーキュラーパーク九州」につなげる



蘭牟田池
提供: 薩摩川内市



引用: [サーキュラーパーク九州HP](#)

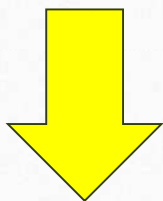
12

つんPayの周知活用

若手チャレンジプロジェクト 政策調査・研究班
4班 小山田 石原 武藤 桐野 村山 吉永

テーマ決定の背景

薩摩川内市内では地域通貨として「**つんPay**」が運用開始された



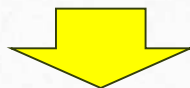
実際は、どのようなものなのか知らない人が多く、運用率も低くなっている！！

つんPayの現状・課題

- 現金によるチャージ不可
- 利用者数が少ない。※令和7年7月時点での情報
(人口：88,205人、ユーザー数：2,730人、人口比率：約3.0%)
- 利用対象者やポイント取得方法が限定的である。
(子育て世帯や市外居住者で寄附した方等)

問題点①: 知名度不足

つんPayの情報を受けとる場として・・・
⇒市役所窓口や加盟店舗等（248店舗）にあるポスター、専用サイト、YouTube
= 限定的



普段目にする場所や多くの人が利用する場所に情報がない
認知度、利用度が上がらず普及率が伸びない要因になっている？

改善策

- ・ 情報発信を積極的に行う

⇒メディア（ラジオ、SNS）

例：公式LINE等で定期的にお知らせを発信する

⇒ポスター（加盟店で掲示、駅、市役所）

例：ポスターのほか、広報紙にも記事を載せる

- ・ 市で行う様々な活動のなかで紹介を行う

問題点②：利用できる場の少なさ

現在、つんPayを利用できる場所＝248店舗

その中でも飲食店やスーパー等の販売店が多い

しかし・・・

頻繁に訪れる場所では利用するが、利用頻度が少ない場所だと、つんPayを使う機会が少なくなってしまうのでは？

また、ポイントをとめる方法も少ないため、さらに利用率が低くなっている可能性も・・・

改善策(利用の場)

・ イベントでつん P a y を利用できるようにする

⇒ 各イベントに出店している屋台等で使えるようにする

例：花火大会・スポーツフェスタ・自然の家での主催事業等・純心大学の学園祭

= 認知度もあがり、普及率の上昇につながる！！

問題点③: 利用対象の限定

現在の大きな利用対象 = 子育て世帯

そのほか、市内居住者も利用できるが、今の時点では利用者がかなり限定的に・・・



このような点からも、つん P a y の利用者が少ない要因となっているのでは？

改善策

- ・就職や進学で転入してきた人が利用できるようにする

⇒新生活を始めるうえで家具等の購入を支援することで、本市への定住等の促進にもつながる

例：一人暮らし応援・入学祝い金・新生活応援

- ・公共交通機関を利用する人へのポイント付与

⇒利用するごとにポイント付与を行うことで公共交通機関の利用頻度が上がる

例：くるくるバス・肥薩おれんじ鉄道・結Lineこしき・高速船甕島

市へのメリット(地域貢献)

- ・市内全体の発展

⇒ボランティア活動等にポイントを付与することで、市全体に活気があふれるとともに、各活動にも良い影響が生まれる

例：自治会ごとのイベント・防災意識の向上

- ・環境改善につながる

⇒リサイクル活動や環境保全活動に取り組むことで、市民全体が環境活動に対する意識が生まれる

S D G s への関心が高まり、市の取り組みにも積極的に関わるようになる

= 街全体の取り組みに発展していく

市へのメリット(経済活性化)

- ・くるくるバス、おれんじ鉄道、甕島フェリーで利用

⇒利用者ポイントがその場で貯まり、行き先ですぐ活用できる

- ・市内の飲食店、商業施設などで利用

⇒飲食店だけでなく、宿泊施設や温泉街にもお客さんが出向き、発展につながる
例：市比野温泉街・国道3号沿いの商店街

市へのメリット(人口増加)

- ・市街地以外への居住や甕島への定住促進

⇒過疎化しつつある地域の活性化や地域交流等の再開につなげる

- ・進学や就職に伴う市内への住民票の登録によるポイント付与

⇒市外からの転入者に積極的に付与することで定住につなげる